

金山町立明安小学校

施設概要

事業主体：金山町

施設名称：金山町立明安小学校

所在地：最上郡金山町大字下野明 1696 の 1

用途：小学校



撮影 篠澤 裕

《外観写真》

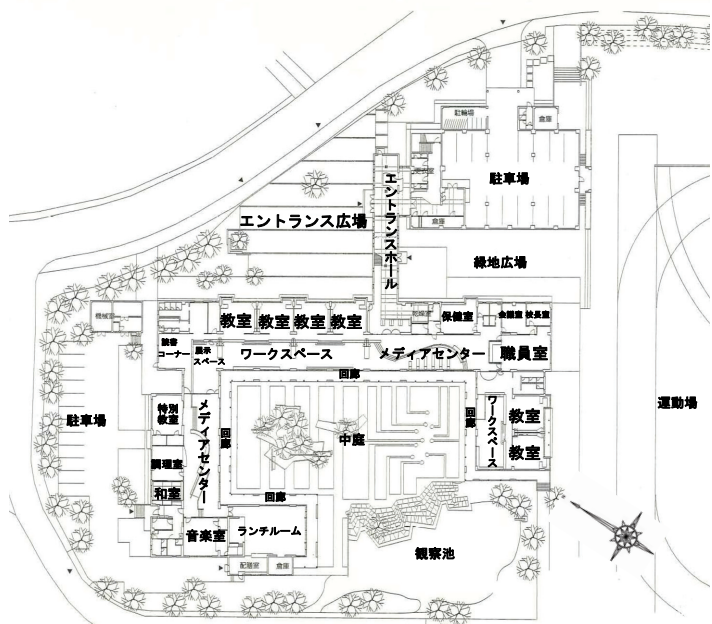
●施設の特徴、内容

金山杉の有効利用と、多雪・豪雪・寒冷地の気候に配慮した新しい学びの環境を作ることの基本方針とし、公共建築としてその耐久性を重視するとともに地場産の金山杉を使用した、コンクリートと木造の混構造方式を採用している。

●配置計画について

中庭を囲んで低学年棟・中学年棟・特別教室棟・ランチルームが配置されているため学校のどこにいても人の気配を感じることができる。

中庭を囲む廻廊は、クリ材のウッドブロックが敷かれ、中庭と合わせて教室の延長として半外部的に上履きのまま自由に行き来できる計画とした。



配置図・1階平面図

■建物情報

階数：地上2階（体育館地上3階）

構造：鉄筋コンクリート+木造（体育館RC+鉄骨造）

敷地面積：20,613 m²

延床面積：3,820 m²

校舎 2,235 m²

体育館 1,585 m²

最高高さ：9.29m

■主要仕上

外部仕上

（屋根）：ステンレスフッ素樹脂塗装 t0.45 mm

（外壁）：コンクリート打ち放し 杉板型枠 撥水材塗布

杉板 t18mm 縁甲板張り化粧ビス止め木材保護塗料塗装

（開口部）：木製サッシ+アルミサッシ

（その他）：廻廊床 ウッドブロック t60 mm

内部仕上

（床）：カバ複合フローリング t15 mm

（壁）：金山杉 縁甲板 t12 mm 自然塗料塗

（天井）：化粧 OSB ボード t9 mm 保護含浸塗料塗



《ワークスペース》 冬季は遊び場としても利用できる



《外観写真》 外壁の表面には杉板の型枠の木目が現れている

《使用木材》



杉 139.3 m³、ク リ 1.1 m³
 米 松 79.8 m³、ナ ラ 8.3 m³
 計 228.5 m³ 【国産木材 140.4 m³】

●設計における工夫点

金山町は多雪地域であるため、雪下ろしの不要な屋根材料、コンクリートと木造の混構造、木製複層ガラス窓、高窓からの採光などを採用した。平面計画においては、総合学習などを行うワークスペースを廻廊と連続する位置に配し、冬季の遊びのスペースとしても利用できるよう計画した。

●大空間に対する工夫点

松材やヒノキ材に比べ強度が低い杉材において、柱の少ない大きく自由な空間を作ること、施工の精度を確保することなどを目的とし、杉は単材でなく工場加工され比較的精度の良い集成材を使用した。

小学校において校舎は大きな家でもあり、小さな街でもあるととらえ、生徒や先生方の帰属性を尊重すると共に、集団生活における思いやりや物を大切にすることを育む場として社会性のある空間づくりを意識している。

●木材の使用について

林業に携わる地元の関連業者により建設協力委員会を発足し、集成材に使用する杉材は工程に合わせて的確な時期に伐採及び乾燥を行い用意した。

また、コンクリート部分には杉板の型枠を採用しコンクリートの表面に杉の木目が現れるようにし、間伐材を利用したパネルを工場にて組み立てる方式をとり、冬季の現場での作業量を低減した。

金山杉を構造体として使用し「金山の杉が姿を変えて自分たちの建物や街を支えている」という街づくりの精神性だけでなく、金山杉の新たな付加価値、生産性を見出したかった。



《教室》



《音楽室》



《ランチルーム》

■事業概要

設計者：株式会社 小沢明建築研究室
 施工者：(建築) 沼田建設 株式会社
 (電気) 東北電機鉄工 株式会社 新庄営業所
 (機械) 株式会社 ヒラタ住工設備
 工期：平成 12 年 9 月～平成 14 年 1 月

設計費： 36,345 千円
 建設費：(建築) 815,556 千円
 (電気) 74,939 千円
 (機械) 102,613 千円
 (合計) 993,108 千円
 1 m²あたりの建設費： 260 千円